

緑のセンターだより

No.311 令和7年2月1日発行

発行元：(公財)札幌市公園緑化協会 豊平公園緑のセンター

ローズマリー



シソ科 マンネンロウ属 (ロスマリヌス属)
Rosmarinus officinalis L.

ローズマリーは地中海沿岸原産のシソ科の常緑低木で、属名のロスマリヌスはラテン語で「海（マリヌス）の露（ロス）」から来ており、その名のとおり潮風を受ける海に面した崖に多く自生します。

葉は松葉のように細く革質で、長さ 1.5 ~ 4 cm ほど、表面は濃緑色、裏面は白く短毛が生えています。茎が真っすぐに伸びる直立性タイプと、横に這うように伸びるほふく性タイプ、その中間のタイプに分かれます。直立性タイプは高さ 1 ~ 2 m 近くにもなり、本州では生垣に利用されることがあります、北海道での屋外越冬は難しく年中鉢植えで管理します。花は秋から春にかけて咲き、1 ~ 1.5 cm と小さく、淡紫、淡青、濃青、桃、白など花色にもバリエーションがあります。

一番の特徴は葉のすっきりとした強い香りで、ヨーロッパでは古代ローマ時代から薬や香料として用いられてきた長い歴史があります。少し触れただけでも香りが広がり、乾燥しても香りが失われないため、古くから「記憶、思い出」や「変わらぬ愛」の象徴とされてきました。また、英名のローズマリーは「聖母マリアのバラ」の意味でもあり、聖母マリアとイエス・キリストにまつわる伝説や逸話が多く存在するほどキリスト教と深い繋がりがあります。また、魔除けの力をもつ神秘的な植物と信じられ、弔事の献花として古くから利用されてきました。他にも結婚式などの慶事、教会や家のクリスマス飾りといった様々な行事に利用されるなど、ヨーロッパの暮らしには欠かせない植物の一つとされてきました。



薬用植物としては強壮、鎮静、消化などに効果があるとされています。美容効果にも優れ、葉から作った浸出液は化粧水やリンスとして利用されます。また、アルコールと一緒に蒸留したものは「ハンガリー・ウォーター」の名前で知られ、アルコールを利用した香水の起源のひとつとされています。中世のハンガリー王妃が愛用し、美しさと若さを保ち続けたという逸話が残されており、今でも若返りのハーブとして重宝されています。

料理でも多く利用されており、特にイタリア料理に欠かせないハーブの一つです。肉料理や野菜料理、パンなどの香味づけとして幅広く活躍します。若い葉を収穫して乾燥保存しておくと、風味よくいつでも利用できます。風通しの良い明るい窓辺があれば室内栽培が可能なので、育てながら少しずつ料理に使うのもよいでしょう。春から秋は戸外でしっかり日に当てて育てると、さらに香りがよくなり株も丈夫になります。ぜひ一鉢、暮らしの中にとり入れてみてはいかがでしょうか？

参考文献：「ハーブの事典」北野佐久子編 東京堂出版、「園芸植物大事典」小学館、「香りと花のハーブ図鑑 500」主婦の友生活シリーズ、「ハーブ新来の香草たち」朝日新聞社

2月の園芸作業

ここに記載した以外の作業も沢山ありますので
ご不明な点は緑の相談までお気軽にお問合せください。

緑の相談受付 10:00 ~ 12:00 13:00 ~ 16:00

豊平公園 811-9370 月曜以外毎日（月祝日の場合は、翌平日が休み）
平岡樹芸センター・百合が原公園は冬期間相談受付しておりません。

作業時期			作業内容
	上旬	中旬	下旬
屋外園芸	整枝剪定		落葉広葉樹は強剪定も可。モミジ・カエデ類、常緑樹は剪定しない。
	雪害からの保護		樹冠や枝に着雪している雪は落とす。雪に埋まっている枝葉を雪の上に出す。
花木	剪定		サクラ、コブシ、モクレン、ハナカイドウなど、必要な花芽を残して剪定する。過度の剪定は避ける。3月下旬までに
	球根		保存状態の点検
室内園芸	野菜		ダリア（湿潤、5~8）、カンナ（湿潤、8~10）、グラジオラス・アマリリス・カラー（乾燥、3~5）、球根ベゴニア（乾燥ぎみ、バーミキュライトなどを軽く湿らせたもの、3~5）
	鉢花・観葉植物		保存野菜の確認
	球根		保管状態、鮮度、発芽状態など確認し、なるべく早めに食べるべき。
	鉢花		水やり・施肥
	温度管理		土の表面が乾いたら、室温程度の水を与える。開花が続く草花の鉢は、液肥も与える。受皿の水は捨てる。
	湿度		開花中の鉢花は15~20。昼夜の温度差がある方が望ましい。温風を避ける。
	病害虫防除		暖房のある部屋では加湿器、霧吹き、水を入れた容器や濡れタオルなどを近くに置く。
	洋ラン		枝葉や鉢周りのベタつきはカイガラムシやアブラムシ等の虫害サイン。捕殺し、水洗い。
	植物		花後の管理
	洋ラン		ツバキやアザレアなどの花後は低温下に置き、休眠状態にして新芽の成長を抑える。
植物	洋ラン		生育温度、高温性（コチョウラン、デンファレなど）は18~25、低温性（シンビジュムなど）は10~20。なお、カトレアは最低12~13以上を保つ。
	洋ラン		生育温度が保てる場合は乾いたら与える。保てない場合は極力控える。開花中、蕾の出ているものには多めに灌水し、肥料は与えない。
植物	植物		水やり
	植物		冬型種（リトープス、コノフィツムなど）は表土が乾いたらたっぷり灌水。夏型種、春秋型種（アロエ、エケベリア、クラッスラなど）は極力控える。
全般		置き場所	休眠しているもの以外は、窓辺などできるだけ日当たりの良い場所に置く。

園芸 Q & A

Q 鉢花を育てていますが、水やりで悩むことがあります。鉢花の種類や大きさなどによって鉢土の乾き方が異なるのは仕方がないのですが、自分なりに納得しながら水やりをしたいと思います。鉢花の水やりについて基本的な考え方を教えてください。また、冬場に向かう11月頃から春先にかけて元気がなくなる鉢花が多いので、これについても何か良いアドバイスがあればお願ひします。

A 鉢土が乾くのは、光合成や植物体の温度を調整するために葉から水分を気化して放出する蒸散作用がおこり、その結果、植物体は失われた水分を補給するために根から水を吸い上げるのです。これが鉢土の乾く主な原因です。葉の多い植物や、温度が高くて太陽光が強い成長の盛んな夏場の植物は、蒸散が活発になるので鉢土が乾きやすくなります。

反対に、温度が低く、太陽の光が弱い冬場や、鉢替えをして根を切ったとき、剪定をして葉量が少なくなった場合などは、鉢土は乾きにくくなりますので、それまでと同じような水やりをしていると、過湿の原因となり、根の活動を阻害して病気や根腐れの原因になります。

また、鉢や用土の種類によっても乾き方が異なります。鉢の種類については、素焼き鉢は鉢の表面から水分が蒸発するので鉢土は乾きやすいのですが、プラスチックや瀬戸鉢は鉢の表面から蒸発しないので、素焼き鉢に比べて乾きが遅くなります。

次に、冬場に鉢花の元気がなくなる原因はいろいろ考えられますが、そのひとつに水の温度があります。札幌市の水道水の温度は5~10だそうで、冬場は5近くになると思われます。植物の根は温度変化に敏感なので、このような水道水を直接与えると根がショックを受け、水分の吸収能力が低下します。よって、半日ほどくみ置きした常温の水を使うとよいでしょう。

また、鉢に直接太陽が当たるような場合、特に鉢色が黒系のときは、鉢土の温度が上昇しやすく、根に悪い影響を与える可能性があります。すっぽりと入るような大きな鉢（または鉢カバー）に入れて、直射日光から保護することも大事です。

豊平公園 展示会

アザレア展

2/11 (火) ~2/24 (月祝)



‘マルタ’



モチツツジ ‘花火’

ボタニカルアート展

3/18 (火) ~3/30 (日)



早春を飾る花々が集う



寒さと雪の季節はもうしばらく続きますが、百合が原緑のセンターでは、豪華に咲く洋ランに続き可憐な福寿草と雪割草、華やかな装いのアザレアや、表情豊かなツバキなどの展示会が開催されます。

大温室では6mもの大木のミモザや、三大香木の一つであるジンチョウゲも見頃を迎えます。

ジンチョウゲ



百合が原公園

〒002-8082

北区百合が原公園210

TEL 011-772-3511

JR学園都市線

「百合が原」駅下車

徒歩7~10分

華やかな「アザレア展」



豊平公園緑のセンターでは2月11日から「アザレア展」を開催します。鉢全体の花色の割合が紅色～桃色で変化する‘カメレオン’や、30年以上の大株のヒラドツツジ‘紫宸殿’など、緑のセンターで育てたアザレア、ツツジ類を展示します。アザレアの鉢の販売も行います。

ぜひ「アザレア展」へお越しください。



〒062-0905
豊平区豊平5条13丁目¹
TEL 011-811-6568

地下鉄東豊線
「豊平公園」駅下車
1番出口徒歩1分

百合が原公園 展示会

福寿草と雪割草展

～春を告げる雪国の妖精たち～

2/4 (火) ~2/16 (日)



福寿草

雪割草



アザレア

アザレア展

～道内最大級のコレクション～

2/11 (火祝) ~3/2 (日)

ツバキ展

～古典園芸 道内最大級のコレクション～

2/18 (火) ~3/16 (日)



ヤブツバキ系
‘タマ グリッターズ’



ヤブツバキ系 ‘紅月’

イベント情報（2月～3月）



豊平公園緑のセンター

☎ (011) 811-6568
<https://www.sapporo-park.or.jp/toyohira/>

【園芸教室】	開催日	時間	教材費	定員	申込開始
果樹類の剪定と病害虫予防	2月22日(土)	13:30～	300円	40名	2/11(火)～
シンビジュムの育て方のコツ	2月23日(日)	13:30～	300円	40名	2/11(火)～
花の種まき実践講座	2月24日 (月祝)	13:30～	1,800円	20名	2/11(火)～
洋ランの春の管理と植え替え	3月1日(土)	13:30～	300円	40名	2/11(火)～
有機栽培の土づくり	3月8日(土)	13:30～	300円	40名	2/11(火)～
【コチョウラン植え替え講習会】	3月9日(日)	9:00～16:00 完全時間予約制	材料費実費	24名	2/11(火)～



百合が原公園

☎ (011) 772-3511
<https://yuri-park.jp/>

【講習会】	開催日	時間	教材費	定員	申込
ツバキの育て方	2月22日(土)	13:30～14:30	500円	20名	2/11(火)～
レカンフラワーを使ったドームづくり	3月9日(日)	10:30～12:00	2,500円	10名	2/11(火)～
レカンフラワーを使ったボトルづくり	3月9日(日)	13:30～15:30	2,500円	10名	2/11(火)～
洋ランの育て方	3月15日(土)	13:00～14:30	300円	20名	2/11(火)～

豊平
公園

コチョウラン

2/11～受付開始！

植え替え講習会

3/9(日)9:00～16:00(完全予約制)

①完全予約制

- ・実施日の9:00～16:00の間で、一人あたり30分の枠を設けています。
- ご予約の際は、ご希望の時間をお伝えください。

②植え替えは一人一鉢まで

- ・ご自宅にあるコチョウランを一鉢、化粧鉢を外してご持参ください。
- 葉を外気に当てないよう、新聞紙などで包んでお持ちください。

③その他の持ち物

- ・園芸用のゴム手袋やエプロン。または、汚れても良い服装でお越しください。

④材料費実費

- ・参加費は無料ですが、植え替えに必要な材料費が別途必要です。
- 新しい鉢や水苔は、お客様のコチョウランのサイズによって大きさや量が異なるため売店で適切な物をご購入いただきます。（新品の水苔はお持ちいただいて結構です）
- ・およそ1,300円程度を目安にお考えください。

